

令和5年度「山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰」受賞者概要

表彰の趣旨

男女共同参画社会づくりに特に顕著な功績のあった個人若しくは団体又は仕事や地域活動等様々な分野でチャレンジし活躍している個人若しくは団体を顕彰し、その功績を称え、男女共同参画社会づくりに対する県民の一層の関心を高め、男女共同参画社会の形成の促進に資するものです。

功労者表彰

多年にわたり男女共同参画社会づくりに特に顕著な功績のあった個人・団体を山形県知事が表彰している賞です。

令和5年度は、1名が受賞されました。

くりやま やすなお
栗山 恭直氏（山形市）

【主な功績】

山形大学に着任後、理学部の学生の教育に携わりながら、本県における理科教育に関わる普及活動に取り組んできた。自ら小中高等学校へ出向き出前講座等を実施するなどして、幼少期から化学の面白さに触れられる機会を提供し続けているほか、理工系の女性研究者や大学院生と交流できる機会を提供し、女子生徒の理工系進路選択や理工系職業に対する興味・関心を高め、次世代を担う理工系女性人材の育成に貢献している。さらに、県内で活躍する女性研究者を山形大学のホームページや自身のラジオ番組でロールモデルとして発信し、女性研究者の活躍を推進する活動にも積極的に取り組んでいる。

【主要経歴】

- H1 筑波大学文部技官
- H5 ニューメキシコ大学博士研究員
- H6 北里大学理学部講師
- H13 山形大学理学部
- H26 化学コミュニケーション賞2013（一般社団法人日本化学連合）
- H29 日本化学会第41回化学教育賞（公益社団法人日本化学会）
- H29 文部科学大臣表彰科学技術賞理解増進部門（文部科学省）